



あいち民主県議団として 豪雨被害への対応を 知事に要望しました！

6月2日の豪雨災害で被災されたみなさまに、心より
お見舞い申し上げます

岡崎市では、全壊1棟、半壊125棟、道路損壊や
河川越水などで多くの方が被災されました。そのよ
うな状況を踏まえ、**6月9日に「あいち民主」県議団
鈴木純団長から大村愛知県知事に対して特別予算
付与を要望しました。**

また地元選出の重徳和彦衆議院議員も石井国交
副大臣はじめ関係省庁にも要請されています。

県民の安全、安心の確保は常に最優先課題です。
今後も国会議員・市町村議員のみなさんと連携して
取り組みます。どうぞご協力をお願いします。



被災現場



大村知事に要請する鈴木純団長と
「あいち民主」県議団役員



重徳衆議院議員が
石井国交副大臣に要請

復旧費用としての予算付与額の配分予定
岡崎市 6.3億円 幸田町 2億円

Daily album



当選証書を頂戴
気が引き締まります！

労働者の祭典です
会場の籠田公園にて

- 4/13 ■ 連合愛知三河中地協からの岡崎市への政策要望
■ 連行愛知三河中地協からの幸田町への政策要望
- 4/14 ■ 当選証書の授与式
- 4/28 ■ 西久保前県議と事務所にて引継ぎ
- 5/13 ■ 三河中地協メーデーに参列
- 5/19 ■ 鹿乗川河川改修促進期成同盟会総会に参列
- 5/21 ■ 木曾川三川連合総合水防演習に参加
- 5/30 ■ 連合愛知三河中地協
地域制作推進フォーラムに参加
- 6/19 ■ アイシン機工労働組合
結成30周年記念式典に参列



事務所にて西久保前県議と



大村知事と



1期生の阿部県議(豊田)・左
江原県議(名古屋南区)・中央と

2023 連合三河中地協の仲間の議員とともにがんばります！



ご意見などございましたら下記までご連絡ください。
また、お近くにお越しの際は、
お気軽にお立ち寄りください。

発行 山口たけし事務所

〒444-3176 岡崎市真伝吉祥1丁目15-20
TEL (0564) 21-6376
FAX (0564) 21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



公式サイト



山口たけし後援会
公式LINE



ポスターの掲示について



ご自宅の敷地内にポスターを
貼っていただける方、ご連絡を
お待ちしております。

※ポスターは時期により変わる場合があります。

働く仲間のために 行動します！

山口 たけし

- 愛知県議会議員
- あいち民主県議団
- 副政策調査会長

プロフィール

1968年9月25日 京都市生まれ
1992年に京都大学経済学部経済学科を卒業
同年 トヨタ自動車に入社し生産管理部配属となる
先輩と一緒に岡崎の花火大会に感動しきり

てんびん座・A型 妻と息子2人
趣味は読書とゴルフ、動画編集
休日は息子とラーメン食べ歩き
モットーは、『現地現物』『改善の精神』
『当事者意識』で課題解決！

“人材確保”と
“エネルギー戦略”で

山口の
視点

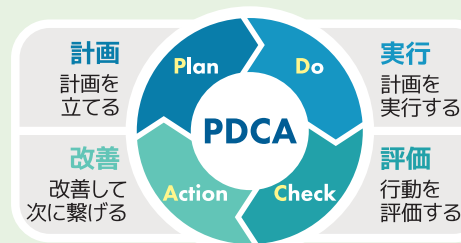
働く仲間と働く場を
どう元気にしていくかを
考えています！



今年の夏は想像を超える暑さでしたね。みなさま、引き続きご自愛ください。

4月30日より第1期目の任期が始まり早5か月。6月定例議会一般質問をさせ
ていただきました。愛知県の産業は、日本経済をけん引する競争力があります。

今回は、**2つの大きなテーマである“人材確保”と“エネルギー戦略”**について
質問しました。今後も働く仲間のみなさんが直面する本質的な課題から目をそらさ
ず、様々な角度から取り組みを続けていこうと決意を新たにしています。



行政の施策においても**PDCA(=Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善))のサイクルを回すことが不可欠**です。

「あいちビジョン2030」にスポットを当
て、今取り組むべき課題について質問と提
案をしました！

(※)
「あいちビジョン2030」とは
愛知県の2040年頃の社会
経済を展望し、2030年度
までに重点的に取り組むべ
き政策の方向性を示したも
の。さまざまな施策の推
進にあたって考慮すべき基
本戦略として3年前に策定さ
れました。

令和5年6月 定例議会 ご報告

今後も日本一元気な 愛知県の産業を続けていくために 働く仲間の声を議会に届けました！

2022年度は、前年コロナ禍で落ち込んだ生産の挽回計画が、半導体不
足等により計画通りの挽回とならず、さらに原材料費とエネルギー費用の
高騰が経営を圧迫しているという経営者の切実な声があります。今年度、
自動車の生産も本格的に挽回し、コロナ前の水準を上回っ
てきています。そこで今、製造業をはじめ、さまざまな産
業の現場で深刻な人手不足の声が届いています。そんな働
く仲間の声を議会に届けました！

定例会議での
一般質問の内容は
2、3ページを
ご覧ください！



Q 愛知県の人材戦略について

愛知県へのU・I・Jターンの促進について
国の制度対象地域は東京23区に限られていますが、働き方に対する意識の変化や、愛知県の深刻な求人状況を踏まえ、国の制度対象でない地域からの移住者に対しても支援策を検討するべきだと考えます。



要望
しました

非正規労働者の正社員化に対する助成。

東京と名古屋にある「あいちU・I・Jターン支援センター」は首都圏・関西圏などから愛知県に人を呼び込むため、大学訪問や大規模就職フェアなどに出席し希望者の掘り起こしや就職相談を実施しています。今年度は新たに大阪市で直接、求職者に県内企業を紹介するなど関西圏での働きかけを拡充します。

A



労働局長

Q 運輸業の働き方改革の促進について

時間外労働の上限規制適用開始が来年4月に迫る中、高齢者が活躍している反面、外国人材の活躍が難しい状況です。それを踏まえさらなる働き方改革による女性の活躍の促進への取り組みが必要だと考えます。

中小企業対象に、労働講座などによる労働法の啓発や就業規則の整備促進に取り組むとともに、育児など家庭の都合で時間の制約のある方を積極的に採用する運送会社の好事例などを発信していきます。

A



労働局長

Q 外国人労働者の活躍促進について

円安などの環境の変化で来日して働くという魅力が低下しています。国の技能実習制度の見直しの先を見越し、環境整備を進め外国人材から選ばれる愛知県を目指す取り組みにシフトしていくべきだと考えます。

国は人手不足の対応で、特定技能2号の対象を11分野に拡大します。自動車産業等で長期就労する外国人労働者が増加することが想定されます。各種団体と意見交換を実施。外国人労働者に愛知で働きたいと思ってもらえ、活躍していただけるよう労働環境整備に散り組んでいきます。

A



労働局長

Q ものづくり愛知を支える“工科高校”について

多くの工科高校で定員割れが常態化しています。2年前に学科・コースの刷新を図りましたが、実態に対する企業や県民の課題意識は低いと感じます。希望者を増やすために、ものづくりの魅力の発信を強化するべきだと考えます。



要望
しました

愛知のものづくりの将来を担う人材の育成は、県立工科高校の使命です。今年度は経済団体と連携し企業説明会を開催し、生徒と保護者がその魅力を知る機会の充実を図ります。

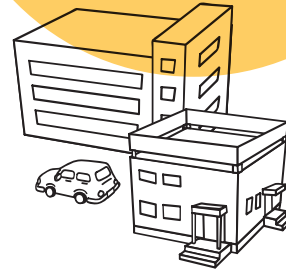
A



教育長

人材戦略の中長期的な数値目標をあいちビジョンに掲げること。

働く場
を
元気に!



Q

愛知県の産業におけるエネルギー戦略について

エネルギー費高騰への対策支援について製造業の中小企業アンケート結果では、エネルギー費高騰への問題意識が高く、同時に対応に苦慮していることがうかがわれました。再生エネルギーの導入拡大や省エネの徹底でのエネルギー費用の抑制対策には、導入支援が不可欠だと考えます。

今年度引き続き補助を行う上で、情報や知識、人材面などで制約あり対応が遅れるおそれのある中小企業への支援を強化します。省エネ相談に加え新たにアドバイザーを派遣し、削減目標設定や設備導入の計画策定などのサポートを実施し、きめ細かく支援していきます。

A



環境局長

Q 次世代エネルギー（水素・アンモニア）の活用促進について

愛知県には、全国1位の出荷量が11種あります。特に自動車・鉄鋼・化学・石油製品製造業などで、水素・アンモニア活用の余地は大きい。その一方で、研究開発や設備投資負担も大きな課題です。国が戦略的投資を決めた今こそ、支援に関し愛知県の取り組みの強化が重要だと考えます。

名古屋港を始めとする臨海部に内陸部までを含めた広域かつ産業横断的な水素サプライチェーン構築。世界初の(株)JERAの碧南火力発電所でのアンモニア発電を核としたアンモニアサプライチェーン構築のため、国により支援の獲得を目指し、行政・民間が一体となって需要創出などの取り組みを加速させます。日本有数の水素・アンモニアを活用した一大産業拠点となるよう全力で取り組んでいきます。

A



経済産業局長

愛知県の産業を元気にすることが
市民・県民の皆さまの豊かな生活に繋がると考え
活動しています!



愛知県議会 本会議
録画映像はこちらから

本会議
中継



山口 健
一般質問の様子

